

Rapport (ラポール) とは、仏語で「信頼と親愛の絆」を表しています。  
多摩大学広報誌「Rapport」は、多摩大学と多摩大学サポーターをつなぐ  
コミュニケーション誌です。

発行者/多摩大学 発行日/2018年12月30日  
東京都多摩市聖ヶ丘4-1-1 TEL:042-337-1111 FAX:042-337-7103  
<https://www.tama.ac.jp/>



文部科学省「平成29年度私立大学研究ブランディング事業タイプA」採択

ジェロントロジーに取り組み  
大都市郊外型高齢化に  
立ち向かう実践的研究

# Rapport

2018  
Number

104

多摩大学 | 広報誌 |

## Vol.104 Contents

フランス ESIEA との提携10年	02
「グローバル化する観光産業の人材育成と活用VII」シンポジウム	02
経営情報学部 2018年度春学期 褒賞者	03
第30回 多摩祭	04
SGS Festa 12th	05
経営情報学部 後援会主催 就職セミナー	06
シルバー・デモクラシー企画	06
寺島実郎監修リレー講座 現代世界解析講座XI	07
多摩地域の名所・旧跡②【霞ノ関南木戸柵跡】	07
多摩大学研究ブランディング事業	08

## フランス ESIEA との提携 10 年 ～ For the better life of students ～

経営情報学部 教授 出原 至道

フランスの大学 ESIEA (École supérieure d'informatique, électronique, automatique) との提携協定が、2019 年で十周年を迎える。この間、ESIEA からの留学生を 17 名受け入れ、多摩大学からは 3 名の留学生を送り出した。

ESIEA は、バーチャルリアリティ (VR)、セキュリティ、組み込み技術などに特徴を持つ 5 年制の大学で、学生は修士号を得る。キャンパスは、パリ市に 2 つ、西部のラバル市に 1 つあり、合計の学生数は約 1,000 名である。

ESIEA との関係の始まりは、15 年前にさかのぼる。

2003 年、出原ゼミのチーム (代表: 高田泰生) が、国内 VR コンテスト「IVRC」において、ラバル市で開催される世界的規模の VR 大会「Laval Virtual」への招待を獲得した。この後、ほぼ毎年、この大会に直接応募し、厳しい審査を通過して出展している。一方、ESIEA ラバル校は、2005 年と 2007 年の Laval Virtual で「IVRC 招待賞」を獲得し、来日・展示した。展示を通じた交流を経て、両大学に実践的職業人を養成しようとする共

通の目標があることが明らかとなってきた。

この流れの中で、2007 年、ESIEA から、多摩大学への留学生派遣の打診があった。関係する規則や制度が十分に整備されていない時代であったが、諸橋正幸学部長 (当時) と事務局の尽力によって交流が開始され、その後、順調に拡大している。

ESIEA の留学生には、週 30 時間の実習と最終レポートの提出、口頭試問が課されている。この間の留学生の真摯な研究姿勢は、受入研究室を中心に、多摩大生に大きな影響を与えている。

2010 年以降、私は、春の大会出展に加えて、秋の国際プログラム説明会にも参加している。この場合は、単なる学生向け説明会にとどまらず、ESIEA の国際交流責任者スーザン・ルベ教授の "For the better life of students" という言葉に共感した世界中の大学関係者が集まり、情報技術の教育手法や、文化の多様性について議論を交わす場にもなっている。この中で、学生の教育に真剣で信頼感のある新たな提携先の可能性も生まれてきた。次の 10 年に向けて、より一層提携を深めていきたい。



最初の留学生  
メルメ君 (2009) 初の両校学生チームによる展示 (Laval Virtual 2014) 最終口頭試問の様子 (2014) ルベ教授来訪 (2016) 留学プログラム説明会 (2016) ゼミ合宿での交流 (2018)

## 「グローバル化する観光産業の人材育成と活用 VII」シンポジウム

2018 年 10 月 1 日、藤沢商工会館ミナパークにて、グローバルスタディーズ学部主催のシンポジウム第 7 弾として、「グローバル化する観光産業の人材育成と活用 VII」を開催しました。このシンポジウムは藤沢市における観光・ホスピタリティをテーマとするもので、鈴木恒夫藤沢市長を始め行政関係者や市民など多くの方々の参加がありました。

多摩大学は 2015 年に藤沢市、藤沢市観光協会と観光連携等協力協定を締結し、また藤沢市は 1981 年に中国・雲南省昆明市と友好都市提携を調印しています。グローバルスタディーズ学部では、この姉妹都市提携に基づき昆明市と学生の相互交流を進めています。今回のシンポジウムでは、「山」の雲南省・昆明、「海」の藤沢・湘南をキーワードに、今後のインバウンドおよびアウトバウンドを促進していくための提案が講じられました。

安田震一 グローバルスタディーズ学部長は「今年の夏休みに学生 12 名と教職員 4 名で昆明市を訪問し、昆明藤沢友誼館で藤沢市で開催予定のオリンピック競技セーリング、日本の観光地などについての発表会と交流会を開催。さらに雲南民族大学と雲南大学

における表敬訪問と学生交流も大成功で、今後も交換留学や交流を継続して実施していきたい」と挨拶、鈴木恒夫藤沢市長は「今年の 4 月に昆明市を訪問し、現地の日本語スピーチコンテストに感銘。藤沢市の姉妹都市である昆明市やウインザー市 (カナダ) との交流を一層深めていきたい」と意気込みを語りました。田中孝枝専任講師は、講演「藤沢市・昆明市の双方向観光交流の促進に向けて」で、①双方向観光交流の意義 ②昆明・雲南省の魅力 ③中国人海外旅行のトレンド ④藤沢～昆明〈2way ウェルネス・ツーリズム〉の 4 項目について発表しました。寺島実郎学長は基調講演「2020 年への湘南の構造変化 ～ジェントロジーの視界から～」で、資料集『寺島実郎の時代認識 2018 秋号』を参照しながら、1900 年～2017 年までの数値の推移から外国人入国者数と日本人出国者数の変化を比較、さらに中間層の没落という日本の貧困化、21 世紀に入ってから日本の家計消費構造の変化、アジアダイナミズムと日本海物流、中央リニアと圏央道などについても講じました。また異次元高齢化、100 歳人生に向けた「知の再武装」など、ジェントロジー (高齢化社会学) における提言を述べました。



安田震一 グローバルスタディーズ学部長の挨拶 鈴木恒夫藤沢市長の挨拶 田中孝枝専任講師の講演 寺島実郎学長の講演 会場の様子

# 経営情報学部 2018 年度春学期 褒賞者

多摩大学経営情報学部では、学業や社会活動において優れた業績を上げた学生を褒賞する制度を設けています。

## 成績優秀者奨学金奨学生

学業及び成績が優秀で人物及び健康ともに優れ、他の規範となる学生に対して、多摩大学奨学金規程に基づき審査を経て区分に応じた奨学金を支給しています。

### ■ 1 年生 ・区分 1

学生氏名
磯部 直樹
船井 玲伽
宮崎 友花
深山 右京
村田 月夜

### ・区分 2

学生氏名
石原 滉大
伊東 真由
梅本 康太
金子 慎吾
木下 拓海
白井 ほのか
砂谷 泰輝
松下 健斗
味蓼 恵月
三好 真以
和田 彩佳
和田 麻白

### ■ 2 年生 ・区分 1

学生氏名
上岡 萌絵

### ・区分 2

学生氏名
相澤 大虎
荒兼 悠人
猪俣 大雅
小田島 功弥
金子 萌菜
亀田 良賢
菅間 慶美
久津間 晴夫
酒井 祐菜
竹之内 剛
田代 斗真
田中 梓
ZHAO DAN
永井 ひかり
馬場 明仁
藤盛 佑哉
正岡 采桂
村松 繁
綿地 鈴夏

### ■ 3 年生 ・区分 1

学生氏名
伊藤 彪我

### ・区分 2

学生氏名
大輪 憲生
貝守 光希
貝守 勇希
川村 千夏
菊池 裕輝也
澤田 千尋
白井 拓海
関 謙二郎
中野 花
野田 航平
服部 敬文
早川 礼奈
松田 活明
山口 知徳
山下 圭以太
山村 香織

※氏名 50 音順



優秀学生賞 1 年生



優秀学生賞 2 年生



優秀学生賞 3 年生

## 優秀学生賞

- ① 各講義科目において顕著に優れた成績を収めた学生
- ② 教育補助 (SA) として著しい功績があった者
- ③ 成績向上が顕著な者 (GAP の向上等を基準)
- ④ 学業に対する取組が真摯で他の模範となる者

◎印は、選出理由

科目名	◎	学生氏名
ITコミュニケーション入門	1	JIYEON LEE
ITコミュニケーション入門	1	佐藤 悠騎
ITビジネス入門	1	伊東 真由
IT概論 I	1	小田島 功弥
アジア経済論 I	1	和田 拓海
アントレプレナーシップ論	1	植草 裕貴
eビジネス	1	岡田 優貴
English Expression I	1	金子 慎吾
English Expression I	1	清水 貴大
English Expression I	1	味蓼 恵月
Web デザイン I	1	小田島 功弥
Web プログラミング	1	伊藤 彪我
韓国ビジネスコミュニケーション I	1	玉置 遥梨
韓国語 I	1	望月 優梨
韓国語 I	1	和田 麻白
キャリア・デザイン I	1	綿地 鈴夏
教育心理学	1	関 謙二郎
業界研究 I	1	田中 梓
クリエイティブデザイン I	1	今泉 宏樹
グローバルビジネス入門	1	和田 彩佳
グローバルヒストリー I	1	伊東 真由
グローバルヒストリー I	1	宮崎 友花
グローバルヒストリー I	1	深山 右京
グローバルヒストリー III	1	若山 大亮
経営と意思決定	1	齋藤 星斗
経営科学 I	1	増田 悠斗
経営学概論	1	久津間 晴夫
経営情報論 I	1	相澤 大虎
経営組織 I	1	粕川 雄哉
原価計算	1	澤田 千尋
現代メディア論 I	1	川村 千夏
国際経済学	1	猪俣 大雅
国際公共政策	1	宮兵 洗介
サービス産業論	1	澤田 千尋
サブカルチャー論	1	平山 佳苗
産業社会特講(地域の歴史から学ぶ人生のヒント)	4	深田 和雅
産業社会特講(T-GROW 2018 春)	4	松田 活明
産業社会特講(メディア新時代の情報表現 I)	1	増田 悠斗
産業社会特講(メディアの過去・現在・未来)	4	村田 月夜
情報と職業	4	伊藤 彪我
情報と職業	1	山口 知徳
情報ネットワーク	1	関 謙二郎
情報倫理	1	荒兼 悠人
スタディースキル入門	1	茂山 友也
スポーツ I	4	笠原 愛輔
スポーツ I	4	吉田 仁
スポーツ II	4	松尾 奎吾

科目名	◎	学生氏名
スポーツ II	4	宗像 和牙
スポーツ II	1	吉田 桃子
スポーツと健康	1	白井 拓海
スポーツと健康	1	JUNLEI LI
多摩学 I	2	相田 雅貴
多摩学 I	4	安藤 七海
多摩学 I	4	梅本 康太
多摩学 I	2	帷子 佑紀
多摩学 I	2	川村 千夏
多摩学 I	2	木下 尚晶
多摩学 I	1	小林 拓視
多摩学 I	1	庄司 剛
多摩学 I	4	白井 ほのか
多摩学 I	2	中田 理樹
多摩学 I	2	廣野 樹梨
多摩学 I	4	村田 月夜
多摩学 II	1	久津間 晴夫
地域観光論	1	安部 理央
地域観光論	1	川村 千夏
地域産業論 I	1	中田 理樹
地域ビジネスプランニング I	1	岡田 優貴
地域ビジネスプランニング I	1	田中 梓
地域ビジネスプランニング I	1	中井川 拓弥
地域ビジネスプランニング I	1	馬場 明仁
地域ビジネス入門	1	塩澤 侑奈
地域ビジネス入門	1	味蓼 恵月
中級簿記	1	澤田 千尋
中国経済論	1	貝守 勇希
中国経済論	1	山村 香織
中国経済論	1	JUNLEI LI
中国語 I	1	中野 愛由
中国語 I	1	船井 玲伽
中国語 I	1	渡邊 友裕
中国ビジネスコミュニケーション I	1	田口 光
データサイエンス I	1	富鶴 博己
データサイエンス III	1	阿部 慎吾
データベース I	1	相澤 大虎
データベース I	4	塚越 絃多
データ分析実践	1	伊藤 彪我
TOEIC I	1	JIAYUAN WEI
TOEIC I	1	小田島 功弥
TOEIC I	1	SHUYUE BI
TOEIC I	1	JIAYONG LIN
特別講座 I	1	酒井 祐菜
日本経営論	1	早川 礼奈
日本語講座初級	1	TING SHUO TU
日本語講座中級 I	1	YUCHEOL JEONG

科目名	◎	学生氏名
ビジネスコミュニケーション I	1	BAOYI ZHONG
ビジネスコミュニケーション III	1	関 謙二郎
ビジネススキル入門	1	小林 拓視
ビジネススキル入門	1	四ツ車 昌
ビジネス数学基礎	1	清水 大
ビジネス戦略 I	1	武藤 萌
ビジネス入門	1	神尾 正紀
ビジネス入門	1	味蓼 恵月
Practical English Conversation I	1	相澤 大虎
プレゼミ X01	2	廣瀬 くるみ
プレゼミ X02	2	須谷 亮太
プレゼミ X03	2	上岡 萌絵
プレゼミ X04	2	津布久 裕貴
プレゼミ X05	2	木下 尚晶
プレゼミ X06	2	谷萩 優一
プレゼミ X07	2	八束 あき梨
プレゼミ X08	2	廣野 樹梨
プレゼミ X09	2	佐藤 瑠奈
プレゼミ X10	2	古川 今日子
プレゼミ X11	2	松本 瑠正
プレゼミ X12	2	福田 恭文
プレゼミ X13	2	荒井 直樹
プレゼミ X14	2	徳光 李起
プレゼミ Y01	2	鈴木 理史
プレゼミ Y02	2	渡邊 健史
プレゼミ Y03	2	栗本 寛太
プレゼミ Y04	2	和泉 遼
プレゼミ Y05	2	座間 樹乃
プレゼミ Y06	2	相澤 大虎
プレゼミ Y07	2	遠藤 光一
プレゼミ Y08	2	堀川 浩暉
プレゼミ Y09	2	相田 拓真
プレゼミ Y10	2	上原 雅貴
プレゼミ Y11	2	杉村 優香
プレゼミ Y12	2	川村 千夏
プレゼミ Y13	2	帷子 佑紀
プレゼミ Y14	2	伊藤 春哉
プログラミング入門 I	1	中島 大地
Basic Office English I	1	八東 あき
マーケティング・リサーチ	1	荒兼 悠人
マーケティング入門	1	大内 翼
ミクロ経済学	1	BAOYI ZHONG
ミクロ経済学	4	YINGLIN DENG
ライフ・デザイン	1	齊田 百合子
ライフ・デザイン	1	宮崎 友花
ライフ・デザイン	1	三好 真以

※科目名 50 音順

# 経営情報学部【多摩キャンパス】 第30回 多摩祭

グローバルフェスタ 2018 in TAMA  
パズル～俺たちの作った30ピース～  
2018.11.3sat-11.4sun

開催 30周年となる今年度の多摩祭のテーマは「パズル～俺たちの作った30ピース」。これまでの集大成となる多摩祭が、実行委員だけでなく参加団体や来場者の方々とともに作りあげられていくことを意味しています。屋外にはゼミやサークルによる模擬店が並び、芝生広場では全国の特産品の販売がありました。またアリーナでは射的やヨーヨー釣り、輪投げ、ダーツ、お菓子すくいなど12種類の遊戯が楽しめる緑日を開催。キャンパスには学生の家族や友人、親子連れなど多くの方々が集い、体験したり交流したり、会場は活気に満ちていました。



## ◎多摩大学地域連携フェスタ

ゼミやアクティブ・ラーニングプログラムでは、地元や全国の地域と連携し実践的に学習。成果や活動を紹介しながら、多摩市や奥多摩町、大和市、石巻市などの特産品を販売。



## 模擬店

ゼミやサークルによるたこ焼き、玉こんにゃく、豚汁、焼きそば、焼き鳥、タピオカドリンクなどの飲食店、また飯田健雄ゼミの古本市も開催。

## 公開講座

- ◎正しいストレッチと手軽な健康筋トレ方法
- ◎キッズイングリッシュ「英語であそぼう」



## ◎グローバルカフェ

中国・韓国・台湾からの交換留学生によるカフェ。各国のお茶やお菓子を提供。



## ←◎ VR 脱出ゲーム (彩藤ひろみゼミ)

## 展示・発表

- ◎松本自転車展
- ◎学内放送局 FM TMC 888
- ◎部活展示
- ◎脳波を測ってみませんか?
- ◎出原研究所
- ◎出張！ひじりダンジョン！大脱出！
- ◎大展示会
- ◎私の志
- ◎東方弹幕シューティング
- ◎サザ演劇
- ◎ゲーム大会

↓アリーナでは緑日を開催

## イベント

- ◎テニス教室
- ◎パブルアタック
- ◎仮面ライダージオウショー
- ◎ほのぼのショー
- ◎コアラ文庫 (お話会・工作教室)
- ◎大学生クイズ
- ◎カードゲームアカデミー
- ◎ミニオープンキャンパス
- ◎マジックショー
- ◎けん玉ショー
- ◎小林公太氏講演会
- ◎わくわくキーワードスタンプラリー
- ◎ホームカミングデー
- ◎「私の志」小論文・スピーチコンテスト表彰式
- ◎保証人向け学修・就職個別相談会
- ◎歴史をおもちゃで振り返ろう
- ◎プラレール
- ◎後夜祭 (お笑いライブ・ビンゴ大会)



◎音楽連合ライブ



グローバルスタディーズ学部【湘南キャンパス】

# SGS Festa 12th

Visualize

2018.11.3sat-11.4sun

12回目の開催となる今年のテーマは「Visualize」。ビジュアルライズには「想像する」「視覚化する」という意味があります。学園祭実行委員が心に描いた学園祭のイメージを目に見る形にしたいという思いを込めて企画しました。屋外には世界の屋台村を想定した各国料理の模擬店が並び、体育館ステージではサークルによるパフォーマンスの発表。新たな企画として、フェアトレードマーケット、親子英語教室などを開催。子どもから大人まであらゆる世代の方々に楽しんでもらえるよう心を配り、手作り感あふれる地域密着型の学園祭となりました。



## 模擬店

中庭ではAEP (Academic English Program) の各クラスが出店。カレー、チヂミ、タピオカ、ピザなど世界各国の料理を提供。



## ◎茶道サークル

茶道室でお茶会を開催。メンバーは7名（留学生2名）で週1回先生をお招きして活動。



## ◎ Realize「親子英語教室」↑

音楽に合わせたゲームなど、子どもたちは楽しみながら英会話に参加。

## サークル・ゼミによる出店

- ◎ Creation Circle
- ◎ English World by Brian's
- ◎ たかえちゃんのスープ屋さん by Tanaka's Seminar
- ◎ バドミントンサークル
- ◎ Study Abroad Cafe
- ◎ カンボス land のカードゲーム



## ◎ EPU (Event Promotion Unit) ↑

EPUは学生参加のボーリング大会の企画や湘南台祭りの手伝いなど、学内外のイベント活動を行う学生会。学園祭ではボール投げや輪投げなど子ども向けゲームを企画。

## イベント

- ◎ 六会中学校吹奏楽部演奏会
- ◎ Dance & Freestyle Football
- ◎ チロルライブ
- ◎ せりかな with 音多摩
- ◎ バクステ外神田一丁目
- ◎ ヴォーカルユニット「WILL」
- ◎ Jazz サークル発表
- ◎ 「じんごろう」パフォーマンス
- ◎ 「鬼越トマホーク田畑藤本」ライブ
- ◎ ガールズパンクロックユニット「池袋歌劇団」
- ◎ 「ピスタチオ」ライブ
- ◎ 藤沢三曲協会演奏
- ◎ 和太鼓集団「響」



## ◎ 上田比呂志氏講演会

タイトルは「ディズニーから学んだ感動を与えるホスピタリティ」。お客様をワクワク感動させるディズニーのホスピタリティマジックについて講演。

## テニスコート

- ◎ バレーサークル
- ◎ テニスサークル
- ◎ 多摩ゴルフサークル



フェアトレードマーケット

## カフェテリア

## ◎ Zions Club →

海外で住居建築を手伝うボランティアサークル。今年の夏はカンボジアで12日間活動。活動の様子をTV放映。



## 発表・セミナー

- ◎ 名城大学研修発表会
- ◎ 多摩大学留学フォーラム及び就職セミナー
- ◎ シナプソロジーの体験会

## 経営情報学部 後援会主催 就職セミナー

2018年11月11日、多摩キャンパスにて「経営情報学部 後援会主催 就職セミナー」を開催。成田信雄後援会副会長による挨拶の後、第1部 講演、第2部 教職員を交えた懇談会を行いました。

### 第1部 講演

○「多摩大学の就職実績、就職支援体制について」 杉田文章 経営情報学部長

多摩大学の就職率と就職状況、学生・キャリア支援課・ゼミ担当教員による三位一体の就職支援体制を紹介。就職はタイミングが大事、納得のいく就職活動には早めの対応が必要と話しました。

○「保護者のための就職セミナー ～就活生をサポートするために～」

株式会社リクルートキャリア 就職みらい研究所 増本全氏

当日のアジェンダは、①「就職」の今～2019年卒の振り返り ②「働く」の今～労働市場の環境変化 ③「保護者と学生」の今～就活の変化と支援。3月までには就活準備をし、3月以降は短期決戦、企業と個人の関係性の变化、保護者ができる支援などについて詳細に説明しました。

○「多摩大学就活生の実情（アンケート結果）」 初見康行 経営情報学部准教授・就職委員

在学生アンケートの質問内容は「就職活動を進めるにあたり、両親に期待すること」「就職活動において、両親に期待しないこと・やめてほしいこと」。初見就職委員は回答のあった152名の結果を解説し、保護者には進路相談・経済援助・健康管理の3つが最も期待されていると語りました。

○質疑応答

会場からは、「企業はインターンシップで何を見るのか」「業界や職種の見極めなど今から何をすべきか」「コミュニケーションが苦手な学生はどうしたらよいのか？」などの質問がありました。

### 第2部 教職員を交えた懇談会

会場を学食に移し、保証人の皆様からの就職活動に関するご質問やご相談に教職員がお応えしました。その他にも学修やご家庭における学生の生活などについても懇談し、保証人の皆様と大学が情報交換を行う有意義なひとときとなりました。



杉田文章学部長の講演



増本全氏の講演



初見康行就職委員の講演



保証人の皆様と教職員との懇談会

## 多摩大学「シルバー・デモクラシー企画」

### 第5弾 山梨県南アルプス市で「果樹ぶどう×フットパス」を開講

多摩大学では「リレー講座」を受講する高齢者を対象に山梨県南アルプス市で2018年9月23日に農業体験講座を開きました。農業体験を通してリタイア後の世代が新たな社会参画を考える企画で、今年度2回目となり約20名が参加しました。

昨年の田植え・稲刈等の体験に続く「食」と「農」に接近する社会参画として、9年後にリニア中央新幹線が結ぶ山梨県南アルプス市と連携し、多摩地域で暮らしながら田舎での農業をすることで社会的役割を担う生活を体験しました。

午前中は5月に農作業を体験したブドウ畑を訪れ、前回作業したブドウの状況について説明を受けた後、収穫体験をしました。午後は芦安温泉民宿・旅館の「なとりや」を訪れ、芦安地域の郷土食と伝承活動についての説明を聞き、南アルプス市の食材を使った昼食をいただきました。

退職後の世代が農業体験を通じて社会参画の在り方考える企画となり、参加者は同市芦安地区も訪れ、市教育委員会文化財課の担当者等から歴史や文化について説明を受けたほか、過疎化や獣害といった同地区の課題解決に向けて取り組む地元住民の活動を学ぶことができました。

本学は高齢者が地域に参画できるプラットフォームを今後も提供していきます。



金丸一元南アルプス市長と参加者で記念撮影



芦沢地区をフットパス



ぶどう（甲斐路）を収穫する参加者



文部科学省 平成 29 年度「私立大学研究ブランディング事業」選定

# 大都市郊外型高齢化へ立ち向かう実践的研究 —アクティブ・シニア活用への経営情報学的手法の適用—

## ○事業概要

大都市郊外地域は、急速な高齢化に伴う活力低下が顕著である。だが、多摩地域は、高度成長期を支えた高学歴の高齢者層が集積する特異な地域であるとともに、都市中心性と辺境性を併せ持ち社会環境面でも自然環境面でも数多くの有用な資源を持つ。

本事業は、多摩ニュータウンをモデルに、活力ある高齢者層の社会参画を核に、情報技術と経営学的手法を組み合わせ地域の問題解決を實踐し、大都市郊外型高齢化に立ち向かう研究をするとともに、本学のブランドを強化する。

## ○ブランディングロゴマーク



- ・ 国道 16 号線に建つ団地をモチーフに、人の環、つながりで生まれる躍動を表現。
- ・ 活気の赤、生命力の緑、躍動の黄、知性の紫、で「多様性」を表現。

## ○多摩大学シルバー・デモクラシー企画

多摩地域で暮らしながら田舎での農作業にて社会的役割を担う生活を体験。多摩大学リレー講座受講生を対象に山梨県南アルプス市後援による「食」と「農」に接近する社会参画として、2017年～2018年に全5回のべ参加者123名にて開催。

多摩大学シルバー・デモクラシー企画総括「多摩大学 やまなしフォーラム開催」

開催日時：2018年12月2日（日） 会場：南アルプス市ふれあい情報館

<協力>南アルプス市、一般社団法人地域デザイン学会

<後援>山梨県、山梨県商工会連合会、甲府商工会議所、山梨日日新聞社、山梨放送、テレビ山梨

2018年企画

○第4弾：2018年5月20日「果樹ぶどう」×「講座」参加者23名

○第5弾：2018年9月23日「果樹ぶどう」×「フットパス」参加者21名

○第6弾：2018年12月2日「多摩大学やまなしフォーラム」開催



シルバー・デモクラシー企画第4弾



シルバー・デモクラシー企画第4弾  
[果樹ぶどう体験]

## ○多摩大学寺島実郎監修リレー講座現代世界解析講座 XI 2018年秋学期 第6回

鼎談企画「多摩という地域への視界 —大都市郊外型の活性化—」

多摩市市長 阿部 裕行氏 多摩信用金庫理事長 八木 敏郎氏 多摩大学学長 寺島 実郎

## ○世代継承型研究「多摩大学寺島実郎監修リレー講座参加者交流企画」

高度成長期の担い手として生きた多摩地域高齢者のライフヒストリーをデータ化し、多摩大学インターネット放送局などで公開するほか、リレー講座後の交流サロンにて高齢者と学生の直接の対話企画を実施。

## ○ブランディング事業に係る研究

- ・ 脳波を活用した QOL (Quality of Life) 支援とその評価
- ・ 都市農業における高齢者雇用の在り方の検討と就労に伴う高齢者の心理
- ・ 多摩地域のアクティブ・シニアの実態調査
- ・ シニア見守りににおける AR/AI ペット有効性の研究



リレー講座終了後の交流サロン

## ○ジェロントロジー研究協議会での共同研究

幸福で豊かな日本社会のあり方を再構築するためのアプローチとして、寺島実郎学長の提唱する「Gerontology = ジェロントロジー（高齢化社会学）」に基づき、高齢者のみならず若者を含む全世代の視界から体系的研究を行い、その成果を制度設計等に反映することを通じて、サステナブルな「新たな社会システム」構築を目的とし、アカデミズム、企業、シンクタンク、官公庁、地方公共団体等が参加する「ジェロントロジー研究協議会」に中核主体として参画し、都市郊外（国道16号線沿い）型の異次元高齢化に必要な「新たな社会的事業」の提案に向けて、アンケート・ヒアリング調査を実施するほか、共同研究を行う。